

Masao Horiba Awards 堀場雅夫賞

ご案内 2016

堀場雅夫賞募集に当たって

堀場雅夫賞は、「分析・計測」技術を対象として、2003年に設立されました。物質の組成や性質を解明すること、さまざまな現象の意味や影響を把握すること―それはまさに科学の第一歩であり、科学技術や産業発展のための基本的アプローチです。それらのさらなる探究や革新のため、分析・計測技術は必要不可欠なものです。堀場製作所創業者・堀場雅夫の名前を冠した本賞が、分析・計測分野で活躍されている研究者の方々の功績を、分析・計測の重要性とともに広く世に知らしめてくれることを願い、皆様からの応募をお待ちしております。

业的厚



2016 堀場雅夫賞

趣意書

堀場雅夫賞は、国内外の大学または公的な試験研究機関において、分析・計測およびその応用に関する科学技術分野で顕著な業績を挙げつつある研究者・技術者を奨励表彰するものです。

第13回にあたる2016堀場雅夫賞の募集テーマは、「自動運転社会を支える計測技術」です。

今まさに、自動車は人が運転するものから、ブレーキサポートなどの技術革新を経て、完全自動運転の 実現が近づきつつあります。そして、そのための研究開発がますます盛んに行われるようになって います。我が国においても内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)で自動走行システムの 実現・普及のためのロードマップが掲げられていますが、これらが日々改訂されていることからも、この 分野の技術革新の速さがうかがわれます。

自動運転の実現のためには、我々が運転動作として行っている「認知」「判断」「操作」という過程を自動化し、かつ、お互いが適切に関係し合える技術の実現が求められます。その中でも、「認知」においては様々なセンシング技術が、「判断」においては人の知能に匹敵するデータの分析・解析技術が必要です。これらの最適化・安定化に向けての分析・計測・解析技術の高度化も不可欠となります。さらに、自動運転から手動運転へのスムーズな移行や運転者の状態把握など、膨大な情報のやり取りが必要となり、革新的なヒューマンマシンインターフェイス(HMI)が求められています。

加えて、自動運転のもたらす期待効果として、交通事故低減はもとより、渋滞解消・環境負荷低減・快適な運転環境の実現といった、社会的な側面や人間の感性・感情といった側面に対する貢献も期待されます。そのためのセンシングや分析・解析が、研究開発の対象となっています。

このような自動運転社会の実現に、分析・計測・解析技術の視点から、独創的な研究開発に意欲的に取り組んでいる国内外の研究者・技術者の応募を歓迎します。



応募要領

● 趣旨

国内外の大学または公的な試験研究機関において、分析・計測およびその応用に関する科学技術分野で顕著な業績を挙げつつある研究者・技術者を奨励表彰するものです。独創的な研究開発に意欲的に取り組んでいる国内外の研究者・技術者の応募を歓迎します。

● 対象技術分野

自動運転社会の実現に寄与する、下記の分析・計測・解析技術を募集対象とします。

- 1.自動運転に必要な走行環境を正確に把握するための研究
- 2.人と車の協調に関する研究
- 3.安全で環境にやさしい交通流計測制御に寄与する研究

車両に限らず、路上からの定点計測、人体にかかわる計測、これからの完全自動運転社会の実現、さらには安全・環境負荷低減に寄与する、革新的な分析・計測・解析技術の応募を期待します。なお、自動運転社会実現に伴って必要となる、セキュリティ・法規制に関する研究は除きます。

● 応募者資格

大学、公的試験研究機関に所属し、上記分野の研究・開発に従事し、以下のいずれかに該当する研究者・技術者。

- ・上記対象分野において、学術上、技術上の優れた発見、発明を成すことが期待されること
- ・上記対象分野において、学術上、技術上の重要な課題の解決が期待できること

● 表彰内容

2016年10月17日(月)に京都大学芝蘭会館において挙行する授賞式にて、本賞の授与ならびに副賞の贈呈を執り行います。 副賞としては、初年度に1件当たり50万円、さらに受賞翌年と翌々年にそれぞれ同額を授与します。なお、本賞および副賞の 受賞は、授賞式に出席し、応募研究を公表できること、かつ上記の応募資格を有していることを条件とします。

● 応募

下記の①応募用紙(原紙)、②推薦書(原紙)、③関連論文(用紙)を正副各1部(副はコピー可)、およびこれら(①、②、③)をPDFファイル形式にて保存した電子記録媒体(CD-R、DVD等)、それぞれを堀場雅夫賞事務局に提出して下さい。なお、提出書類等(電子記録媒体を含む)は返却いたしません。

- ① 応募用紙:本賞ホームページ http://www.mh-award.org/ よりダウンロードして下さい。所定事項を記入のうえ (英語記入ページも必須)、正副各1部(副はコピー可)およびPDFファイルを提出して下さい。
- ② 推薦書:本賞ホームページ http://www.mh-award.org/ よりダウンロードして下さい。推薦人により、推薦理由が記述された(英語記入ページも必須)、正副各1部(副はコピー可)およびPDFファイルを提出して下さい。なお本推薦書の提出をもって、所属機関による応募の承認とみなします。推薦人は応募者の上長します。
- ③ 関連論文: 当該研究開発に関連する論文(可能な限り英文のもの)最大3報のコピーおよびPDFファイルにて提出して下さい。

● 応募期間

2016年3月1日(火)~5月20日(金)(事務局必着)

● 選考方法

審査委員会にて、応募書類を基に、応募者の実績のみならず将来性と応募研究における応募者の果たしている役割を重視した 審議の上、受賞者を決定します。

2016堀場雅夫賞審查委員会(敬称略、順不同)

審查委員長 堀場 厚(株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長)

副審査委員長 須田 義大(東京大学 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター センター長 教授)

海外審查委員 Paul Newman

(BP Professor of Information Engineering, University of Oxford)

審査委員 大貝 晴俊(早稲田大学大学院 情報生産システム研究科 自動運転・安全運転支援総合研究センター

副センター長 教授)

景山 一郎 (日本大学生産工学部 自動車工学リサーチセンター センター長 教授)

藤井 聡 (京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 教授)

佐渡 泰之 (株式会社堀場製作所 開発本部 第2製品開発センター 自動車テレマティクス開発部 副部長)

塩見 和広 (株式会社堀場製作所 経営戦略本部 自動車計測事業戦略室 ビジネスオーナー)

● 選考結果の通知

審査結果は、応募者に2016年7月末までにお知らせします。

授賞式および受賞記念セミナー

授賞式および受賞記念セミナーを、2016年10月17日(月)に京都大学 芝蘭会館で実施します。あわせて受賞記念パーティーも開催します。

● 受賞内容の公開

受賞研究の内容は、本賞ホームページおよび弊社の技術情報誌 Readout (HORIBA Technical Reports)に掲載します。



応募用紙の送付先

堀場雅夫賞事務局

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地

株式会社堀場製作所內 堀場雅夫賞事務局

TEL:075-325-5110 FAX:075-325-5192

E-mail: info@mh-award.org URL: http://www.mh-award.org/